

保護者様

福岡市立那珂小学校
校長 池田 彰治

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果と今後の学力向上の取組について

保護者の皆様には、日頃より、本校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、4月18日（木）に6年生対象に実施しました全国学力・学習状況調査の結果の概要と今後の本校での学力向上の取組について、下記の通り、お知らせいたします。

記

1 調査内容

- 国語・算数
- 生活習慣、学習意欲・学習方法等に関するアンケート

2 調査結果

本校の正答率が、全国標準と比較して「①上回っている」「②やや上回っている」「③同程度である」「④努力を要する」の4段階のいずれかであるかでお知らせします。

国語	③ 同程度である	算数	③ 同程度である
----	----------	----	----------

※ 国語・算数ともに、4年生時の福岡市学習定着度調査、5年生時の同調査、今回の調査と、年々、得点の伸びが見られます。

3 全国平均と比較して、正答率が高かった問題と低かった問題

	問題番号	設問の概要
		全国平均と比較して正答率が高かった問題
国語	1四(1)イ	—— 部を漢字で書き表す。(友達にかぎらず⇒限らず)
		全国平均と比較して正答率が低かった問題
	1四(1)ア	—— 部を漢字で書き表す。(調査のたいしょう⇒対象)
	1三 (裏面参照)	尋ねられたことに対して、読み取ったことをもとに、決められた条件に合わせて、文や文章で書く問題
算数		全国平均と比較して正答率が高かった問題
	3(3) (裏面参照)	<p>①②に $\times 2, \div 3, \div 5$ のどれかを選んで計算をし、エ オ カ キの数字を考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> $6000 \div 15 = \square$ $\downarrow \text{①} \quad \downarrow \text{②}$ $\square \div \square = \square$ </div> <div style="margin: 0 20px;"> \curvearrowright 変わらない \curvearrowleft </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\times 2$ の場合エ⇒12000 オ⇒30 $\div 3$ の場合エ⇒2000 オ⇒5 $\div 5$ の場合エ⇒1200 オ⇒3 カはどれも400 </div> </div> <p>だから、$6000 \div 15$ の答えの \square は、\square です。 $\square \Rightarrow 400$</p>
		全国平均と比較して正答率が低かった問題
	2(4)	$6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$ ㊦に入る数を書く。⇒7
	3(2) (裏面参照)	引き算の計算の仕方についてまとめたことをもとに、わり算の計算の仕方についてまとめると、どのようになるかを文章で書く問題。

4 生活習慣等に関するアンケートの結果（全国平均と比較して）

- 【良さ】 ○ 将来の夢や目標を持っている児童が多い。
 ○ 「学校のきまりを守っていますか。」と回答した児童が多い。
 ○ ほとんどの児童が、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ。」と思っている。
- 【課題】 ● 「朝食を毎日食べている」と答えた児童が全国に比べて低い。
 ● 「家で学校の授業の予習・復習をしている」と答えた児童が全国に比べて低い。

5 今後の本校の取組とお願い

この結果をふまえ、各教科において「書くこと」の指導をより充実させ、様々な学習の場で「書く」活動を取り入れることで思考力・表現力を伸ばすことに重点を置き、全校で共通に取り組みます。

また、子どもたちに学力を定着させるためには、学校での取組とともに、家庭での学習を充実させることが不可欠です。本校では、「家庭学習のすすめ方」(手引き)を全ての家庭に配付しています。この手引きと「家庭学習時間チェックカード」を活用していただき、自学を含めた学習習慣定着に向けた、ご家庭でのご指導とご協力をお願いいたします。

【参考】

国語での正答率が低かった問題のひとつ

【設問1三】

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の に「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) で分かったことをまとめて書いています。 に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〇 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。

〇 「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。

〇 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって
必要がなくなってしまうわけではないと考えました。

なぜなら、◆

70字

40字

算数で正答率が低かった問題のひとつ

【設問3 (2)】

3 ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考え
ふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算
しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{l} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array}$$

変わらない

だから、 $400 \div 25$ の答えの は、16 です。

$$\begin{array}{l} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array}$$

変わらない

だから、 $90 \div 18$ の答えの は、5 です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、
わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、
どのようになりますか。

下の の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って
書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$\begin{array}{l} 600 \div 15 = \square \\ \downarrow \textcircled{1} \quad \downarrow \textcircled{2} \\ \textcircled{1} \div \textcircled{2} = \textcircled{3} \end{array}$$

変わらない

だから、 $600 \div 15$ の答えの は、 ④ です。

上の①にあてはまるものを、下の から1つ選び、また、
上の②にあてはまるものを、下の から1つ選んで、それぞれ
書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでかまいません。

① $\times 2, \div 3, \div 5$ ② $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の ①、 ②、 ③、 ④に入る数を書ききましょう。

